

令和7年度 清瀬市生活安全対策協議会 会議録（要旨）

日 時 令和8年2月2日（月）14時00分から

場 所 清瀬市役所 市民協働ルーム

出席者

委 員

小寺（会長）委員、村野委員、与那覇委員、高山委員、大熊委員、尾崎委員、新井委員、石崎委員、柿添委員、木村委員

事務局 防災防犯課長、防犯担当職員2名

会議次第

1 開 会

2 会長挨拶

3 委員紹介

4 議 事

（1）安全・安心まちづくりの取組状況について

（2）犯罪被害発生状況について

（3）災害発生状況について

5 閉 会

審議経過

1 開会

2 会長挨拶

3 委員自己紹介

4 議事

(1) 安全・安心まちづくりの取組状況について

事務局より

- ・令和7年度安全・安心まちづくりの取組状況及び令和7年度安全・安心まちづくりの取組について、資料に沿って防犯パトロール、スクールパトロール等の実施内容及び実施予定を説明。

(2) 犯罪被害発生状況について

与那覇委員より説明

- ・令和7年における市内の特殊詐欺について※11月末時点（）内は前年比発生件数34件（+18）
被害が増加した原因は新たな手口として、警察官語りのオレオレ詐欺が増加したことにより、今までの高齢者層に加え、現役世代や若年層の被害も増加している。
- ・その他の犯罪について（令和7年11月末時点）※（）内は前年比
凶悪犯が7件うち強盗2件
粗暴犯20件（-17）
侵入窃盗9件（+4）
非侵入窃盗283件うち自転車盗135件、次点で、万引き57件
- ・犯罪への対策
特殊詐欺については、令和7年12月から警視庁公式アプリの「デジポリス」にて、国際電話や詐欺の予兆電話などをブロックする機能が追加された。令和8年は「デジポリス」の宣伝に力を入れていく。
また、万引きも東村山市をあわせると100件近くになるため、対策を強化していく。

(3) 災害発生状況について

高山委員より説明

- ・令和7年清瀬市内の火災発生件数 ※（）内は前年比

33件(+5)【令和8年1月13日速報値】

内訳は建物火災14件(部分焼3件、ぼや11件)

焼損床面積30㎡(-92)

出火原因1位電気関係、2位たばこ、3位放火

- ・令和7年東京消防庁管内の火災発生件数 ※ ()内は前年比
5,269件(+751)
- ・令和7年清瀬市内の救急出場件数
5,200件(+57)
1日平均14.4件
- ・消防署よりお知らせ
2月28日(土)9時30分~12時00分
消防署の開放を行う。訓練、広報等を実施する。

○質疑

委員より

Q ゾンビたばこについて、警察では補導があるか、啓発は行っているか、消防で搬送等あるか

A 警察では取り扱いはいまのところない。小学校等で薬物乱用教室を実施しており、薬物に対する啓発活動を実施している。清瀬消防署では、救急搬送はなし。

Q 万引きが増えた理由は、物価高の影響があるのか。年齢層も

A 高い水準で推移しているため、物価高による影響とは一概に言えないが、今後そうした影響でさらに増える懸念はある。また、年齢層については細かい統計を取っていないが、下は小中高校生から高齢者まで広い世代で行われている。

Q ネット詐欺はまだあるか。

A まだ発生はしている。

Q まつぼっくりの周辺は暗いイメージがある。なにか対策等考えているか。

A 公園内の設計はある程度照度が取れるよう設計されている。防犯灯も設置している。道路に関しては、都道や市道の関係があるのでしかるべき担当につなげていく。

Q 寝たばこはまだあるのか。

A 東京消防庁管内では、寝たばこによる火災原因はまだある。しかし、たばこによる出火原因は減少傾向にある。電子タバコや喫煙者の減少などによる。

Q 「安全・安心まちづくりの取組状況について」は数値などを載せたほうがよいのでは。

A 検討させていただきます。

4 閉会

会長より

質問・意見等がなければ、本日の会議は閉会させていただきます。

皆様、ありがとうございました。